平成30年度 うるま市の予算

第121回うるま市議会定例会で、平成30年度の一般会計および特別会計等の予算が可決されました。
予算規模は、865億2,461万円で、前年度当初予算に比べ4.7%の減額となっています。

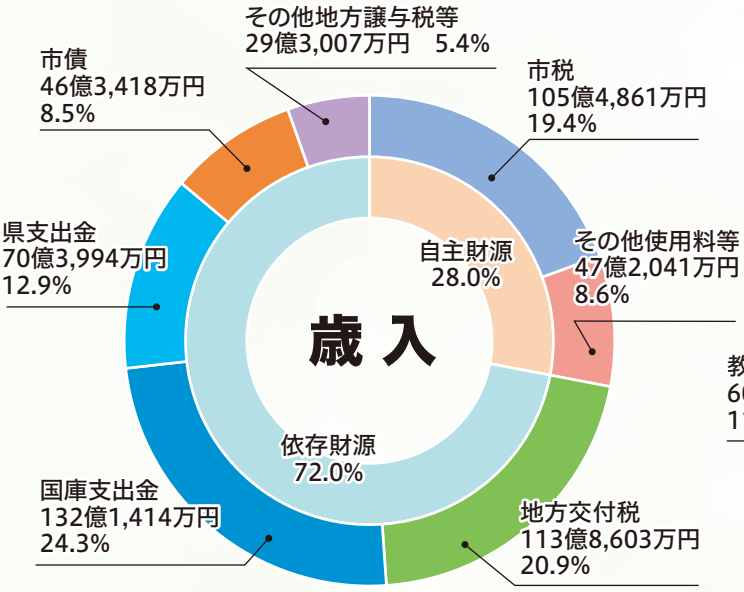
（単位：万円）

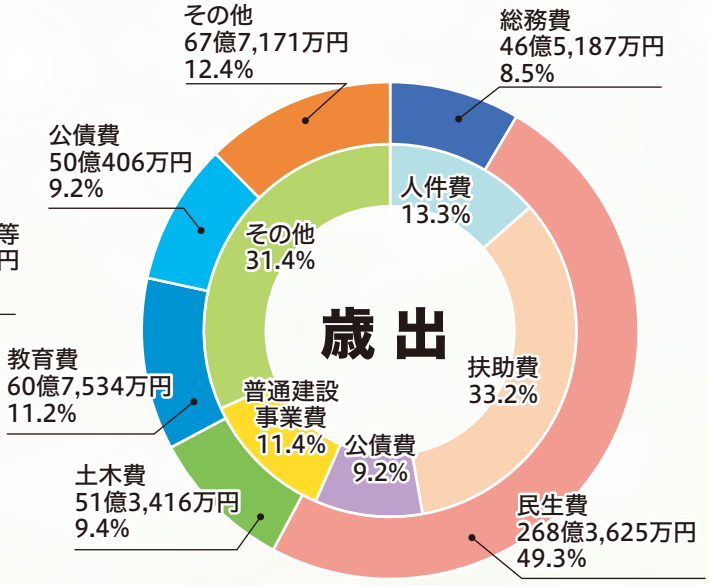
区分		平成30年度当初予算額	平成29年度当初予算額	比較	伸び率
一般会計		5,447,340	5,257,865	189,475	3.6%
特別会計	国民健康保険特別会計	1,579,084	2,140,461	△ 561,377	△26.2%
	公共下水道事業特別会計	236,085	270,176	△ 34,091	△12.6%
	介護保険特別会計	944,858	945,613	△ 755	△0.1%
	農業集落排水事業特別会計	2,685	2,098	587	28.0%
	後期高齢者医療特別会計	100,918	92,432	8,486	9.2%
	小　計	2,863,630	3,450,780	△ 587,150	△17.0%
水道事業会計		341,491	370,022	△ 28,531	△7.7%
合　計（予算規模）		**8,652,461**	**9,078,667**	**△ 426,206**	**△4.7%**

※端数処理のため、比較および合計の予算額が合わないこともあります。

一般会計予算　544億7,340万円

このうち一般会計予算を目的別と性質別に分けて分析すると、次の円グラフのとおりになります。
※円グラフの内側が性質別で、外側が目的別の構成になります。





予算の特徴

平成30年度は、「第2次うるま市総合計画・前期基本計画」の2年目となり、市民が互いに支えあい協働によるまちづくりを実践し、まちの将来像「愛しています　住みよいまち　うるま」の実現に取り組んでいくための重要な時期であります。そのような中において、少子高齢化などを背景とする社会保障などのニーズに対応するとともに、地方交付税などの減額による財政運営の健全化を維持するため、一般会計予算の総額は544億7,340万円で、前年度当初予算と比較して18億9,475万円、率にして3.6%の増額となっています。

歳入については、市税などの自主財源が歳入総額の28.0%、地方交付税および国庫支出金などの依存財源は72.0%となっています。自主財源においては市税が前年度と比較して3.2%増額する一方、地方交付税については2.5%の減額を見込んでいます。

歳出は、行政サービスを目的別で分類した経費で見ると「福祉や医療などの経費（民生費）」や「学校教育や生涯学習などの経費（教育費）」が大きな割合を占めています。性質別で分類した経費で見ると、生活保護費などの扶助費や借金の返済である公債費、委託料などの物件費が増額となっています。

うるま市では行政改革の視点に立ち、組織再編による効率化や事務事業の見直しなどで経費の圧縮に取り組んでいますが、歳入における自主財源の割合が低い中、多様化する市民ニーズと地域課題に対応するため、市の貯金である財政調整基金を約20億円取り崩して予算収支の均衡を保つなど、依然として厳しい予算編成となっています。